

## 春日遅遅【しゅんじつちち】

校長 細江 幸次

10月以降、約3ヶ月にわたり落ち着きを見せていた感染状況も、オミクロン株の出現により一気に感染が拡大してしまいました。しかも、今回の感染拡大は子どもたちが過ごす学校での感染が多くみられ、当市においても例外ではありません。近隣の小中学校でも児童生徒の感染者が出ており、予断を許さない状況となっています。6年生を送る会、卒業式などはアフターコロナを想定してプランを立て始めていた矢先でしたので、状況を見ながら変更や規模の縮小をしていかなければなりません。そんな状況でも時間の流れは止まることなく、今年度の締めくくりは確実に迫っているので、これまでと同様の十分な感染対策を行いながら、学びのまとめ、振り返りと来年度の見通しやめあてを明確にもつことができるように取り組んでいきます。

節分が終わり、立春(2月4日)も過ぎ、春の息吹を感じる時期を迎えました。ピロティにある桜もいつの間にか花芽が出始め、着々と春の準備が進んでいるようです。関連して少し前に知った次の言葉があります。

春日遅遅……春の日が長くて、暮れるのが遅いこと。また、春の日がうららかなこと。

【例】春日遅遅をゆったりと楽しむ。

忙しい日々を過ごしていると、いつの間にかストレスを抱えたり、疲れがたまったりするのではないのでしょうか。そんな時は春日遅遅の休日を楽しむことで、心の休息を取りたいものです。心身ともにゆったりと過ごすことも大切です。

例年、これからの時期は子どもたちも職員も学年のまとめや振り返り、次学年の準備等で、学校全体がいつもより気忙(きぜわ)しくなっています。それに加え、未だに続く感染対策もあり、気忙しさに拍車をかけています。この気忙しさはややもすると負担感や不安感となって私たちに襲ってきます。そこで目の前に広がっている様々な「やらなければならないと思っていること」に次のような視点で整理して取り組んでみてはいかがでしょうか。

- (1) やることに優先順位をつける……期限日が迫っているものから順にやっていたり、重要度の高いものや、やらないと周りに迷惑がかかったりするものからやっていく 等
- (2) やることに軽重をつける……すべてに同じくらいの労力や時間をかけて行うのは、限りある時間の中で行うのは無理と考え、自分が大切ななど考えるものに時間を割くようにする 等
- (3) やることに緩急をつける……いつもゆっくりやっていたりしては時間が足りない、急いで突き進めばばかりでは疲れてしまうので、休む時は休む、やる時は集中して取り組むようにメリハリをつけて取り組む 等

上の言葉との出会いは、この時期の自分を振り返るよい機会を与えてくれたように感じます。今年度の残り時間は明確に限られているので、アクセルを踏んで急ぐところとブレーキをかけて周りの景色をよく見るところとの自己調整が必要ですね。



1年生 凧あげ

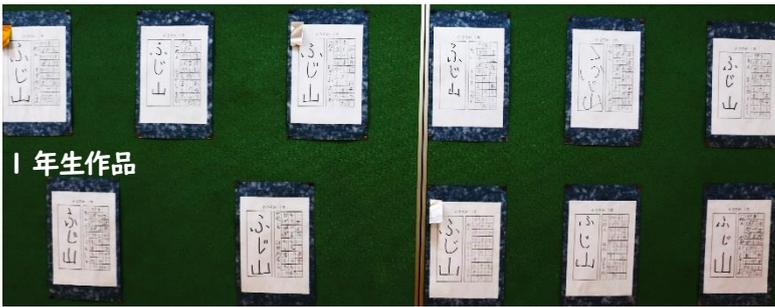
じっくり取り組むと思わぬ発見が...



4年生 理科実験

# Topic

## ■校内書き初め展



1年生作品



3年生作品



4年生作品



6年生作品



2年生作品



5年生作品



今年度の書き初め展は例年より期間を延長して実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、多くの方にご覧いただくことができませんでした。冬休み中の練習の成果がよく表れた力作ぞろいです。紙面にて作品の紹介をさせていただきます。

## ■全国健康づくり推進学校表彰 優秀賞受賞のご報告

上矢作小学校が日本学校保健会の主催する「全国健康づくり推進学校表彰」において優秀賞に選ばれました。これは1学期中に岐阜県教育委員会より推薦を受け、この数年間の学校における健康づくりについての取組を50頁以内の論文にまとめ(第1次選考)、11月10日の学校訪問審査(第2次選考)を経ての受賞です。学校だけの取組だけでなく、家庭(P T A活動)、地域での取組が特に注目されての入賞ともいえます。

本来であれば、2月5日(土)に東京の日本医師会館で開催される表彰式に出席予定でしたが、残念ながらこの度の感染拡大によるまん延防止等重点措置により、表彰式は中止となってしまいました。いただいた賞状については職員玄関付近に飾る予定です。

